

令和7年度
(2025年度)

川島小学校だより



輝く かわしまっ子

1月

15日 第64号

文責: 小西 貴仁

大地のつくりー地層と化石についてー(6年)

1月14日(水)、6年生が県立博物館学芸員の中尾さんをゲストティーチャーとしてお招きし、理科の「大地のつくりー地層と化石について」の学習を行いました。

6年生は、4年生で地面の傾きによる水の流れの観察や、粒の大きさの違いによる水のしみこみ方の違いについての実験や観察を通して、雨水のゆくえについて学習をしています。さらに、5年生では、流水の実験や川の流れについて実験や観察をして、浸食や運搬、堆積という流れる水の働きと土地の変化の様子について学習を行ってきました。今回の学習では、大地のつくりとして「地層や化石」について学習を行いました。

中尾さんからは、「地層とは、「どろやすな、生き物の死がい（貝がらなど）がほぼ水平に積み重なってできたものである。そして、しましま模様のものが多く、ほとんどの地層が下にあるほど古いものが多い。」というお話や「地層ができる場所や地層のでき方、地層の新旧の見分け方」などのお話をもらっていました。また、化石とは、「むかしの生き物の体の一部や生活の跡（あと）であることや、地層の中に含まれていること。」などについてのお話をもらっていました。

6年生の子どもたちは、中尾さんからのお話だけでなく、実際に博物館からもって来てくださった貴重な化石を観察したり、実際に触ったりしながら学習を行いました。なお、詳しい学習内容については、6年生の子どもたちに聞いてください。

